

門祖日隆聖人物語 第1回

はじめに
宗門は平成25年、再興正導門祖日隆聖人の550回御遠諱をお迎えます。
そこで本紙は、550回御遠諱報恩ご奉公の環として、小中学生にも理解
できるように「門祖日隆聖人物語」と題し、2年間にわたり門祖日隆聖人のご代記を掲載させ
ていただきます。どうぞ、信心増進・法灯相続のために、ご家族揃ってお読みください。



550

お誕生

不思議な夢

門祖日隆聖人のお父さんは桃井右馬頭尚儀、お母さんは益子というお方で、お二人のご長男として越中射水郡浅井嶋村（現・富山県高岡市郊外）にお生まれになったんだよ。

お母さんは熱心な御題目のご信者で、朝夕の御題目口唱をけっして怠らない方だったんだ。まだ門祖聖人がお生まれになる前、至徳二年（一三八五年）一月十五日の夜、お母さんは夢を見る。その夢とは、光り輝く玉を手を持ち、香り高い衣を着た僧侶が現れ、「この玉をあなたに差し上げる！」という不思議な夢を見たんだ。

また、お父さんも同じ夜、身なりを整えた高貴なお方が、「この刀をあなたに授けます、何かの時に守り刀として使いなさい」と、刀を譲り受ける夢を見たんだ。翌朝、二人は不思議な夢のことを話し合ったが、これは、きつと良いことの起こる前兆と大変喜ばれたんだ。その後、お母さんは門祖聖人を身ごもるんだよ。

数々の奇瑞

門祖聖人のご誕生までの十カ月の間、世の中は天災や争いもなく平和で、お母さんの部屋には良い香りが漂い、お屋敷の屋根には紫色の雲がたなびくなどと、めずらしいこと（奇瑞）が続き近所の人々も、「こ



お誕生のおり自然に湧き出たご霊水（法華宗本門流 富山・誕生寺）

れはえらいお方の誕生の知らせに違いない！」と噂する程だったんだよ。

そして、至徳二年（一三八五年）十月十四日の朝、お屋敷の庭に突然、霊水が湧き出たんだが、ちょうどその時刻に、うぶ声も高く門祖聖人はお生まれになったんだ。

門祖聖人ご誕生の直後、あるご婦人がお屋敷を訪れ、「今日お生まれになった若君の御世話をしにやって来ました」というんだ。お父さんは大いに喜ばれ、このご婦人を門祖聖人の乳母にされたんだ。さらに、この婦人に続いて白髪の老人が

やって来て、錦の袋に入った刀を取り出し、「ただ今生まれた若君にこの刀をお授け申す！」と刀を渡すと、あつという間に姿を消してしまっただよ。

お父さんは、この刀をじっと眺めて、「あの夢の中で授けられたものだ」と喜ばれ、そして、その刀の銘が「長一丸」と刻まれてあったために、それにちなんで男の子の名前を「長一丸」としたんだよ。

長一丸
白髪の老人から贈られ、終生所持された短刀。



（法華宗本門流 尼崎・本興寺 蔵）

お誕生日の因縁

門祖聖人の十月十四日のお誕生日にも不思議なことがあるんだよ！

仏様は二月十五日にお亡くなりになり、それから二一七一年たった承久四年二月十六日にお祖師さま（日蓮聖人）がお生まれになられた。

そしてお祖師さまは、弘安五年十月十三日にお亡くなりになられたが、それから一〇四年後の十月十四日、こんどは門祖聖人がお生まれになられたんだよ。

もうわかったかな、年代は違っても、不思議とお亡くなりになった日とお誕生の日が続いているんだ。仏様、お祖師さま、門祖聖人と不思議なご因縁を感じるねえ…。

不思議なご因縁

仏さま	ご入滅 2月15日	2171年後の翌日
お祖師さま	ご誕生 2月16日	
	ご入滅 10月13日	104年後の翌日
門祖聖人	ご誕生 10月14日	